

外研

日语分级读库



にほんご よむよむ文庫

Vol.2 4 8

世界^{せかい}のどこかで
日本^{にほん}のどこかで
～ほんとう^{ほんとう}にあった話^{はなし}～



日本NPO法人 日本語多読研究会
川本 数子 (日) 著
早川 修 (日) 插图

工編

4(2:8)
2008

外研

日语分级读库



にほんご よむよむ文庫

Vol.2 **4** ⑧

世界のどこかで
日本のどこかで

～ほんとうはなしにあった話～

日本NPO法人 日本語多読研究会 主编
川本 数子（日） 著
早川 修（日） 插图

外语教学与研究出版社
北京

京权图字：01-2008-1939

© Originally Published by ASK Publishing Co., Ltd., Tokyo Japan

图书在版编目(CIP)数据

外研日语分级读库. Vol. 2. 4. ⑧/ 日本NPO法人日本語多読研究会主编. —
北京: 外语教学与研究出版社, 2008. 11
ISBN 978-7-5600-7956-1

I. 外… II. 日… III. 日语—语言读物 IV. H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2008) 第 178422 号

出 版 人: 于春迟

责任编辑: 王晓静

装帧设计: 王 军

出版发行: 外语教学与研究出版社

社 址: 北京市西三环北路 19 号 (100089)

网 址: <http://www.fltrp.com>

印 刷: 北京国邦印刷有限责任公司

开 本: 880×1230 1/32

印 张: 1.375

版 次: 2008 年 12 月第 1 版 2008 年 12 月第 1 次印刷

书 号: ISBN 978-7-5600-7956-1

定 价: 36.90 元 (全五册)

* * *

如有印刷、装订质量问题出版社负责调换

制售盗版必究 举报查实奖励

版权保护办公室举报电话: (010)88817519

物料号: 179560001

日本語を勉強しているみなさんへ

「にほんごよむよむ文庫」は、

日本語を勉強しているみなさんのための「読みもの」シリーズです。

楽しみながらたくさん読んでください。

やさしいものからたくさん読むと、知らないうちに漢字の読み方や言葉が身につきます。

読んだ話をCDでも聴いてみてください。読みながら聴いてもいいですよ。

目からも耳からもどんどん日本語を吸収しましょう！

「にほんごよむよむ文庫」4つのルール

- 1 やさしいレベルから読む。
- 2 辞書を引かないで読む。
- 3 わからないところは飛ばして読む。
- 4 進まなくなったら、他の本を読む。

世界でも日本でも、毎日いろいろなことが起きています。信じられないような事件や驚くような話、感動のない話など。この本では、東京で起きた三億円事件、お金を使わないで家を手に入れたカナダ人男性の話、そして、空から降ってきた子猫の話を紹介します。



三億円事件

一九六八年にこの事件が起きたとき、日本中の人が本当にびっくりしました。事件が起きたのは、東京都府中市。盗まれたのは、二億九千四百三十万七千五百円。その頃の一カ月の給料がだいたい二万円でしたから、一万五千万分、つまり千二百五十年分の給料と同じです。数字が大きすぎてよくわかりませんね。これは、東京芝浦電気（今の東芝）府中工場

で働いている人たちが、四千六百八十八人分のボーナスでした。日本では、だいたい一年に二回、六月と十二月に毎月の給料の他に現金をもらいます。それがボーナスです。

この事件の犯人は、多くの人に見られているのに、今でも警察に捕まっていません。ですから、この事件をもとにした小説や映画、ドラマなどがいくつも作られています。

— どのようにして、そんな大金が盗まれたのか？

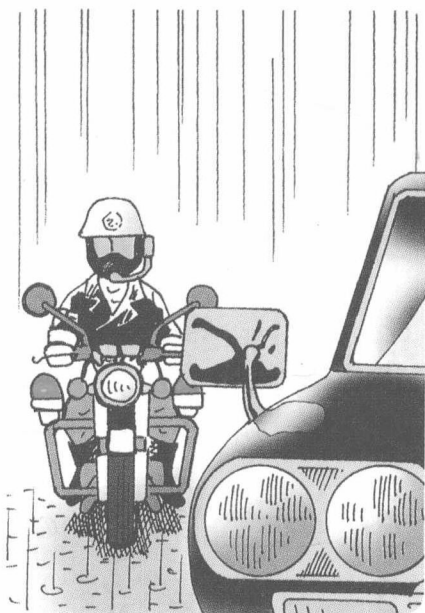
せんきゅうのくろくじゅうはちねんじゅうにがつとおか
一 九六八年十二月十日。

この日は朝からひどい雨でした。

とうきょうしゅうでんきふちゅうこうじょう
東京芝浦電気府中工場にボーナス
を届けるため、黒い車が日本信託
銀行を出発しました。



午前九時二十分頃、その車が東京都府中市栄町三、府中刑務所北側の道を走っていると、赤いライトをつけた「白バイ」が後ろから走ってきました。「その黒い車、止まちなさい」と言いながら、「警察官」は、「白バイ」をその車の五メートルぐらい前に止めました。



運転手が窓を開けて「どうしたのですか？」と聞くと、「白バイ」から降りた「警察官」は、「日本信託銀行の車ですね？」と言いました。



「そうだ」と答^{こた}えると、「警^{けい}察^{さつ}官^{かん}」は、「あなたの銀^{ぎん}行^{こう}の支^し店^{てん}長^{ちやう}の家^{いえ}が『ダイナマイト』で爆^{ばく}破^はされました。この車^{くるま}にも『ダイナマイト』があるという連^{れん}絡^{らく}があつたので、車^{くるま}の中^{なか}を見^みせてください」と言^いいました。

驚^{おどろ}いた運^{うん}転^{てん}手^{しゅ}が「昨日^{きのう}の夜^{よる}、車^{くるま}の中^{なか}を見^みましたが、何^{なに}もありませんでしたよ」と答^{こた}えると、「警^{けい}察^{さつ}官^{かん}」は「では、車^{くるま}の外^{そと}側^{がわ}でしょう」と言^いいながら、車^{くるま}の周^{まわ}りを調^{しら}べ始め^{はじ}めました。

運^{うん}転^{てん}手^{しゅ}も他^{ほか}の三^{さん}人^{にん}の銀^{ぎん}行^{こう}員^{いん}も、車^{くるま}から降^おりて、車^{くるま}の下^{した}などを調^{しら}べました。

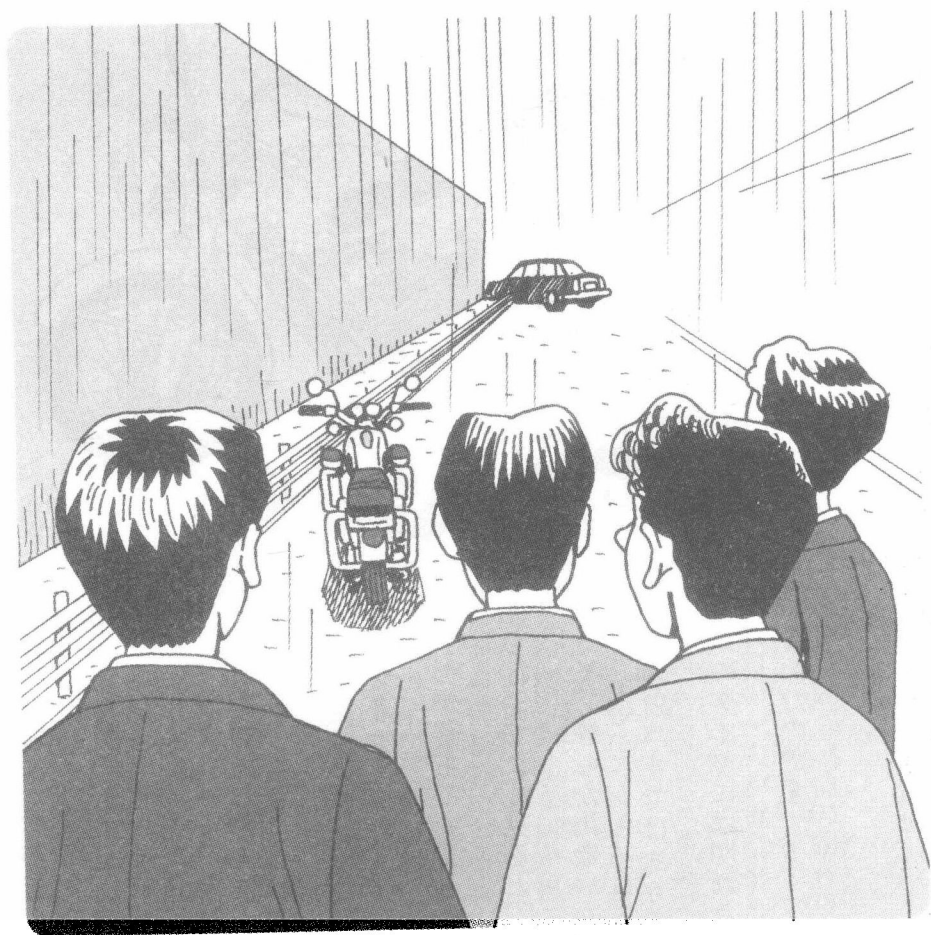


そのとき、車の下に頭を入れて調べていた「警察官」が、突然大声で叫びました。
「危ない! 『ダイナマイト』だ! 逃げろ!」



銀行員たちが見ると、大量の白い煙と赤い火が見えました。銀行員たちはびっくりして遠くのほうへ走り出しました。しかし、その中の一人は、道に戻って、後から来る車に止まるように言いました。何人かの人が火を消そうと煙の方へ走っていきしましたが、この銀行員に「危ない」と言われて、自分の車に戻りました。





みんなが見ていると、
「警察官」は、急にその
「ダイナマイト」がつ
いたままの車に乗って、
すごい速さで走っていっ
てしまいました。

「白バイ」が来てから、
「警察官」が行ってしま
うまで、たった三分しか
経っていませんでした。

「本当の警察官じゃない！」

銀行員の一人が大声で叫びました。その声を聞いて、他の銀行員たちも、やつと現金が盗まれたことに気がついたのです。しかし、銀行員の一人が電話をしたのは、警察ではなくて銀行でした。「車にダイナマイトがあるか調べられた」という電話でした。そして、銀行から警視庁に連絡が入ったのは、事件が起きてから十分も経った午前九時三十一分。事件を見た人や府中刑務所からも警視庁に電話がありました。みんな何が起きたかよくわからないまま、電話をしてしまったようです。警視庁が、各地の警察署に事件を知らせたのは、九時三十五分。その内容は、「府中刑務所の裏で事件。『白バイ』に乗った『警察官』が、九千万円を載せた車を盗んで逃げた。犯人は二十代の男。白いヘルメットをかぶっている、髪形はわからない。車の色は黒」というものでした。盗まれた現金は二億九千四百三十万七千五百円ですから、金額も間違っていましたし、車の番号も言いませんでした。

—なぜ銀行員たちは、変な「白バイ」を本当の「白バイ」だと思ったのか？

—なぜ「警察官」の言葉を簡単に信じてしまったのか？

それは、この事件の四日前、十二月六日に、日本信託銀行藤巻支店の支店長に次のような手紙と風呂敷が届いたからです。

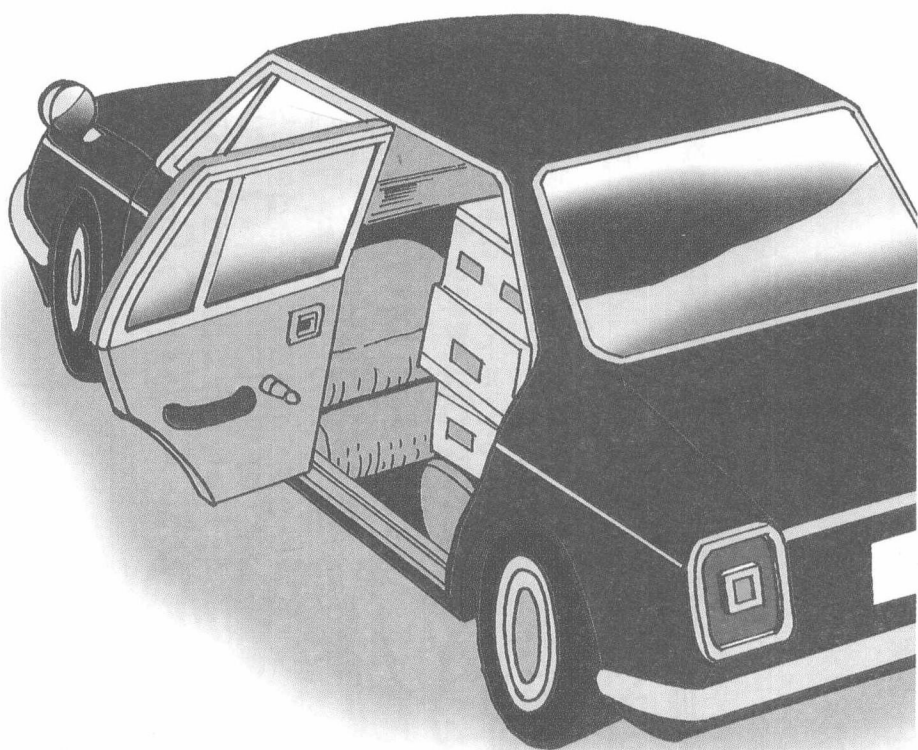
三百万このふろしきに包めいつも窓口にいる女の子が
整ふくのまき左り手にもちあるいて七日のよる五時三十分
にそこをでて駅に三十三分に着き電話ボックスの前に
六時までたちその後小金いの第二じよう水場に六時三十分
までにつきそいでまわっているもし約束をやぶれば
すがものうちにはばくはする……………

(手紙の一部。これは、本当の物ではありません。間違いはそのまま)

—犯人はどうやって逃げたのか？

事件が起きてから一時間ぐらい後の午前十時十八分、日本信託銀行の黒い車が見つかりました。事件が起きた場所から一キロメートルぐらい北の、ある墓地の入り口に止められています。車の中には、現金が入っていた三個のケースはありませんでした。犯人は、ここで他の車にケースを載せて逃げたのでしょうか。





事件から四ヵ月後の
一九六九年四月九日の朝、
三個のケースを載せた青い車
が発見されました。

発見されたのは、事件が起きた場所から約四キロメートル北東の آپパートの駐車場でした。
しかし、三個のケースには、現金は入っていませんでした。そこから、犯人が現金をどこにどうやって持っていたのか、今でも何もわかっていません。

— 犯人はどんな顔だったのか？

事件から十一日後の十二月二十一日、「犯人の顔に似た人」の写真が新聞やテレビに出ました。しかし、この写真は、警察が犯人を見た人の話を聞いて急いで作ったので、犯人に似ていなかったようです。後でわかったことですが、これは、この事件と全然関係のない若者の写真をそのまま使って作った写真でした。この写真から、犯人かもしれないと思われた人は、十一万人もいたそうです。



— 犯人はどんな人だと考えられたのか？

A
大学生

「犯人の顔に似た人」の写真が若かったこと、その頃、政府に反対運動をしている大学
生が多かったこと、などから。

事件が起きた場所の近くには、そのような大学生が多く住んでいました。そこで、警
察は、その辺りのアパートを全部調べたと言われています。

B
日本信託銀行の銀行員とその家族、東京芝浦電気 of 会社員とその家族

いつボーナスが出るか、また、どうやって現金を運ぶか知っていたから。
日本信託銀行でも東京芝浦電気でも、たくさんの人が調べられたそうです。

C 警察官を辞めた人

白バイや警察官のことをよく知っているから。

ボーナスは払われたのか？

盗まれてしまったのだから、払われなかったのだろうと思いますか？

いいえ、事件の次の日、東京芝浦電気府中工場で働いている人全員に払われました。日本信託銀行が保険をかけていたので、保険会社がお金を払ったのです。

「三億円事件」が起きてから、もう何十年も経っています。でも、まだ犯人は捕まっています。多くの日本人は、犯人はどんな人なのか知りたい、犯人に会ってみたいと思っています。